

健康の秘訣 → 無理を作らばいい

病気をよくいふ方にと、治すことには心から出発しなすべし

因果の法則

肝臓障害 → 複雑な人間関係

胃腸 → 怒り、心痴、我慢、小の善人に多い

人に話すはいたいことと口を閉ざす

ユーマチ、神経痛 → 怒り、その内攻
小児麻痺 → 猛毒

ズンブリ腰、腰椎ヘルニア、椎間板ヘルニア → 性の不正関係

鼻の病気 → さからう心
眼 → 見たくばい心、拒否反応
ヒムぞく → 執着心、物質欲のつらさ
甲状腺ホルモンの異常 → 自尊心の強い人
皮膚病 → 荒れた心

腎臓病 → 悲しむと我慢

病 → 見栄のつらさ

浄化霊

不浄化霊

浄化霊

内分泌腺系統は肉体的・情緒的状態に密接に結合して精神異常・心霊体験、カルマ(因果律)と過去の経験、人間精神的進化と関連している。

ライソ腺、甲状腺、副腎、生殖腺

松果腺、脳下垂体、甲状腺、胸腺、副腎、ライソ腺、生殖腺

浄化

下へての事故(自己懲罰) → 神経系との通じ → 腺に影響 → 内分泌

数年前の悪言動 → 自己懲罰 → 適切な時間に罰する → 本能的に行動している時

身体が健康でいたことと、自己懲罰 → 人間の行動は無私的、利己的の間に愛において動機づけられていること

1. からだのからだの便
2. くらさの不足
3. 運動不足
4. 栄養の過不足
5. 不要物の停滞と必要物の不足
④ 怒りの執着、欲求不満
心理的カタルシス、混乱

怒り、悲しみ、非道徳的生活
自己処罰(潜在意識)

左足三人 → 交通事故、左足関係
右足三人 → 左足関係 → 義足
左足 → 股関節脱臼

左足 → 交通事故、左足関係
右足 → 左足関係 → 義足
左足 → 股関節脱臼

左足 → 交通事故、左足関係
右足 → 左足関係 → 義足
左足 → 股関節脱臼

あらゆる現象は宇宙の創造的エネルギーの表現(完全な自由な表現としての人間)

神 物質的 soul/mind
人間は一体 神の一部 [神と心は行動する → 健康、富
心から行動する → 因果律 → 病気、不
霊魂 soul/self ↓ 利己的の肉体心
個別性 individuality ↓ 感覚器官の心
愛(下へての生物最大の幸福とつながり) 他人社会への奉仕、道徳的実践
積極的に忍耐強く、明るく、結果は神に託される。
人間の解放と救済
複合体が人間

(プラトニーの哲学) エンソマインド、ソウルマインド
眼耳鼻口 → 利己的、肉体的心、低自我
心臓の感覚器官で構成 → 財産、武器、戦争
宇宙的意識、英知、個別性の時間的終りに神と一体になる。
人間の傾向は生れたときの感星の位置によって決まる。
星群の運動範囲にある。

【怒りや平静を保つ法】 当然
肉親が被害をうけたら → 加害者と思ふ → 自分にとって不利
他人からの無礼・中傷 → 石ころと思ふ(低自我を他人) → 立腹
自分に対する試練と思ふ
「播いた種は刈らねばならない」
必ずとどくことがある。

前生のカルマの例
人と盲目にした → 自分自身が盲目に
暴飲暴食 → 消化器の故障
病を治すため → 月がさす
人と水に溺れた → 復讐
配偶者に不実を働くと → 同じ不実を妻に合わせる
自殺 → 世に孤独を招く
夫の悪女と自分の性欲の満足に利用 → 11歳の少年ランカ夫に捨てられた女の野蠻能力なし、大小便までほら頭と真直に下へてきて、全身と出来た

探求

二人間すなわち精神は再生する。不滅の靈魂は、聖火の如きものであり、肉体はその火の上に建られた家のように組み立てられる。細胞によってつくられたこの家は、生命の力によって互いに結合しているが、一定の時期がくると朽ち果てて土に帰る。だが聖火は消えることなく、新しい人によって細胞を結び合わせる。聖火すなわち靈魂は「聖なる本源」に呼び寄せられるまで、このようにして家すなわち肉体を替えていくのである」

「聖なる靈感の書」

西洋文明の安全と存続はカルマの思想人の大衆の思想人の中に復活する事にかかっている。ボルグランドン（二八九八）

「聖なる靈感の書」

思想あるものは言葉でしか行為で誰かと傷つけた者は律法の債務者として裁かれ、誰も誰か他人と同じように思想で言葉で、或は行為で彼と傷つけたらば、キリスト

空瓶官福音書

人間とは何か！

人間は肉体でもなければ魂でもない。人間は霊であって神の一部である創造的命命は人間即ち霊なる人間が魂の段階で傷つけた魂と下と、表現されるもの段階で傷つけた肉と下と。人間はその故の自我即ち肉の自我と満足させるためにその生得値とすくすくした。人間は肉の段階と魂の段階で試練、誘惑とて霊なる人間となり神と一つになる。

空瓶官福音書

身体が健康でありたいと共う前提条件として人の行為は無私的は利己的ではない愛により動機づけられていること積極的に忍耐強く、明白く結果は神に委ねる

ジナ・ブリーニナ

主要な人間関係で偶然の結果生じたものは一つもない。あらゆる行為は無関心、怠慢、命令のばよもくに対する軽視と利用に對して責任と負わねばならぬ。

G. S.

仲間ともういかにそれだけの価値ともたなくてはならぬ。愛と得た心には愛と下とはなくはならぬ。

まだその動物学的進化の段階を克服しきれないでいる人類たちが、未来において彼ら待っている無限の楽しみ、完璧な力、自然にえられる知識の明らかな広がり、人類の幅広い平和のいかなるものであるかを、たとえわずかでもかいた見たならば、彼らはすべてをさしおいて、それらの宝を手に入れたらどうだろうか。

「聖なる生命」

スリ・オーロピンド

怒りよ、おぼせて友の生命を奪うはれ隣人の所有するものと欲するはれ隣人は人に親切はるとは、は人にまはるものこととせよ、不親切はるとは、そのものこととせよ、ふたつを合すなれ。

われを創りたるものは、それを奪うなれ。はへにより殺物と借り、不作のたの返済でよめとよは、その負債とは消し去るべし。われはまた、はへしりのわれ、負債とは消し去らん。神聖なる仕打を受けようとも復讐はとくうむはれ。われが人に代り復讐せん。

宇宙神タミールの教訓
彼我の生命の対抗という事態に登場場合は兄弟と殺すより先に私だらうかか自滅せよ。

スヘン・ブリーニナ
奉仕と相互の幸福は宇宙の動機。死に對する恐怖はありませぬ。自身は聖明的存在で、因体ははれはれと秀でていよう。愛が表現する。

因体と故と是に破壊する。これは絶体にはせん。

スヘン・ブリーニナ
に創造してゆく。

物質を超え、物質を自由に統御する力。

無限に発達した道德意識。

一 権度に発達した知能——、いちど目にふれ、いちど耳にしたことは、せつたいに忘れることのない記憶力。どのように複雑な構造でも組織でも、瞬間的に分析し、推理し、理解して、本質を把握してしまふ演算と帰納の力。コトバという間接思考を経ない純粹思考から発する超飛躍的な創造力。それは、ヒトの平均知能を一・〇とするならば、おそらく、二・五から三・五に達するのである。このグループの最高の頭脳は、やすやすと四次元を理解する。

二 感覚器官の増幅——、彼は、不可視光線（赤外線、紫外線）を見ることができ、超音波を聞くことができる。その異常感覚と高度の知能の結合からくる予知力。それらは、自分の肉体を思うままに統御する能力からくる。

三 環境の制御と創造——、思うままに自分を変え、他人を動かし、集団や環境を、自分の理念の通り